



たかなし

校訓「尚志」「知新」
第6号 令和4年4月26日

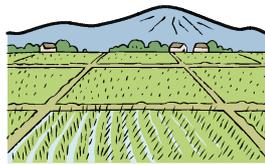


5年生農業学習が始まりました「みんなで稲を勉強しよう～種まき編～」

5年生が、先週20日「JA秋田おばこ下沖田営農集団」を訪れました。はじめに代表の松本〇さんから「私の先祖は、稲をどのように利用してきたか」のテーマの下で、稲にかんする衣・食・住を学びました。その後は、稲の種付け作業の様子を見学しました。代表の松本さんの稲作り（農業）に関する熱い熱い思いが、5年生の子どもたちにも伝わったはずです。私もお話を聞いていて、稲作りに関するプロ意識、まさに「プロフェッショナル」という言葉がふさわしい、高梨地域の大先輩だと思いました。次回は5月25日頃に田植えを予定しています。



松本さんの説明を真剣に聞いていました



苗を育苗しているハウスをのぞき込んでいます



初めて目にする光景に興味津々でした



専門能力スタッフの活用「GIGAスクールアシスタント千葉先生」

文部科学省では、チームとしての学校を実現する3つの視点の一つとして、「専門性に基づくチーム体制の構築」が掲げられています。

その中の一文に ～前略～近年は、学校の多忙化等が指摘される中、教員が孤立化しているという指摘もある。今後、専門能力スタッフや地域の力の参画を得るに当たっては、まず、教員が「チームとして」教育活動に取り組むことが重要である。～中略～その上で、多様な専門性や経験を有する専門能力スタッフ等が学校の教育活動に参画することとなることから、教員も専門能力スタッフも「チームとしての学校」の一員として、目的を共有し、取組の方向性を揃えることが今まで以上に求められる。～中略～ICT機器等も活用し、情報の重要性を勘案して、共有すればよいもの、相談することが必要なものなど、コミュニケーションの充実に取り組んでいくべきである。～後略～



電子黒板を活用しメタ文字を入力しています

上記のことから、本校ではGIGAスクールアシスタント千葉先生、先日紹介した藤本教育専門監、SCの藤原さんと多様な人材が勤務してくださっています。先週は、GIGAスクールアシスタント千葉先生が4年生の授業に参加してくださいました。昨年度末まで校長先生として教育現場でご活躍なさいましたので、児童目線に立って、分かりやすく、根気強く、個に応じた指導支援をしてくださいました。